

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	神崎市立千代田東部小学校
-----	--------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した道徳教育の取組により、児童の自己肯定感が向上した。 ・標準学力検査では、全国平均値より5ポイント以上を上回り、佐賀県小・中学校学習状況調査では、県平均値より3ポイントを上回ることができた。 ・健康・体づくりに関して、スポーツチャレンジへの取組はできたが、夜更かし等の割合が多く、生活習慣において課題がある。
------------------	---

2 学校教育目標	<p>「渾身勉学」「白鳥蘆花に入る」</p> <p>～ 元気いっぱい 笑顔かがやく 児童の育成 ～</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>①自分づくり（心の安心を育む学校風土の確立と児童の自己肯定感の向上）</p> <p>②仲間づくり（地域を生かした教育活動の推進と豊かな体験活動の充実）</p> <p>③学びづくり（確実な学力向上と道徳教育の充実・発展）</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上 (学びづくり)	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	・毎学期マイプランを見直し、共通する課題等を研修会等で共有する。「授業づくりのステップ1・2・3」を基にした指導の手立ての確立の促進を図る。							学力向上Co
	○家庭学習の習慣化	○学年に応じた家庭学習時間を行う児童を95%以上	・毎学期「学習がんばろう週間」を行い、家庭での学習の時間と内容の確認を保護者とともに進行。学校で「小学生新聞」の活用を行い、家庭でも新聞に親しませる。							学力向上Co
●心の教育 (自分づくり)	●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「自分には、よいところがあると思う」児童90%以上	・「心タイム」等で、「ありがとう」「よさみつけ」「心の木」カードを、一年間に25枚以上書かせる。							自分づくり部
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等についての組織的対応ができていると回答した教員95%以上	・児童の「いのち観」や「人権意識」を高める人権・平和教育の推進として、「いのちを考える日」や人権・平和集会の充実を行う。							生徒指導 教育相談
	◎児童が夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○「自らの夢や目標の実現に向けて努力する」と回答する児童の割合90%以上	・「白鳥蘆花に入る」の精神が生きるボランティア活動の充実のために、ボラパス活動や対話的な道徳教育の推進、「キャリアパスポート」の活用に取り組む。							校内研究主任 道徳主任
●健康・体づくり (仲間づくり)	●「運動習慣の改善や定着化」	○授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で300分以上の児童80%以上	・体育的行事やスポーツチャレンジ、縦割り活動、保健運動委員会による体力づくりへの取組を行う。							体育主任
	●「望ましい生活習慣の形成」	○学年に応じた就寝時間を守る児童の割合80%以上	・生活アンケートから児童の実態を把握し、家庭での過ごし方(勉強やゲーム等の時間)のルール作りなどの啓発を行う。							生徒指導 養護教諭
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する	・18:15の退勤時間と毎週金曜日の定時(17:30)退勤日を職員に周知し、その履行を促す。							教頭
	○働きやすく、疲労蓄積の低減を目指した働き方改革の推進	○「疲労蓄積度自己診断チェックリスト」での「負担度 やや高い」職員の割合15%未満	・校務用フォルダの整理・活用、提出文書の内容精選や、校務分掌の平準化を行い、全職員で協働的に教育活動を行う。各個人の意識を改革し、自覚的な働き方改革に取り組ませる。							教頭 養護教諭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○地域の特色を生かした教育 (仲間づくり)	○地域教材の活用 (「次郎の里」教育の実践)	○「千代田の町や人が好きです」と回答する児童95%以上	・下村湖人生家体験学習を、各学年1回実施する。							特別活動主任 教務主任

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--------------------	---